

京都大学で発生する古紙について

【ご質問】（投稿日：2018年6月6日）

今回は千葉大学で古紙を無料回収から買い取りに変更して年間150万円の収入が生まれたとの記事を読んで質問させていただきます。

現在、京都大学で発生した古紙及びその他資源（缶・ペットボトルなど）はどのような処理方法になっているのでしょうか。大学の入札ページには記載がありませんでしたので、回収業者に随意契約で販売となっているのでしょうか？それとも無償回収でしょうか？

京都大学の規模になればかなりの金額が得られると思うので、なるべく有効に利用してくださればと思います。

【回答】（回答日：2018年7月10日）

（施設部環境安全保健課）

ご意見ありがとうございます。

資源となるゴミの処理のうち、古紙などについては、業者との契約状況は部局により多少異なりますが、或る部局の場合に契約業者が古紙の再生利用により得る収入が運搬・処分等にかかる費用より多ければ、その差額を本学に収入として納付いただく契約としているなど、有償での買い取りをお願いし、できる限りの有効活用に努めています。他方、缶・ペットボトルについては処理費用を大学が支払っております。なお、本学の施設は全国各地にあるため、廃棄物については施設の管理部局ごとに、関係法令や各自治体の条例等に従って契約・処理をしています。